

## 昭和東南海地震 信大研究室などが分析

年 組 番 名前

---

1944年に発生した昭和東南海地震で、諏訪湖周辺一帯では震度3～6強に相当する揺れがあったとみられることが、信州大の大学院2年奥山加蘭<sup>からん</sup>さんらの研究で分かりました。当時の状況を想像しながら、記事を読んでみましょう。

- ①奥山さんは当時の震度分布を分析するために、具体的に何を実施しましたか。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ②研究によると、震度6強の揺れがあった可能性があるのは、どの地区ですか。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ③強い揺れに見舞われた可能性があるとは推定しているのは、どんな地盤がある一帯ですか。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ④奥山さんは研究結果について、どんなことが分かったと話していますか。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- ⑤巨大地震への備えとして、あなたはどんな取り組みをしておくべきだと思いますか。友達と話し合ってみましょう。

## 昭和東南海地震 信大研究室などが分析

諏訪湖周辺揺れ  
震度3～6強か

昭和東南海地震 1944（昭和19）年12月7日に発生したマグニチュード（M）7.9の巨大地震。関東から九州にかけての太平洋沿岸にある南海トラフのうち、紀伊半島東側が震源域と推定される。内閣府の専門調査会が2006年度にまとめた報告書によると、地震や津波に伴う死者・行方不明者は1223人、全壊・流失家屋は約2万戸に上った。軍需工場が集まる東海地方の被害が大きかったが、厭戦（えんせん）気分を拡大を恐れた軍部の情報統制により、新聞やラジオでは大きく報じられなかった。

## 体験者らに聞き取り 狭い範囲でも大きさに幅

紀伊半島沖を震源に発生し諏訪地域で大きな被害が出た1944（昭和19）年の昭和東南海地震で、諏訪湖周辺一帯では震度3～6強に相当する揺れがあったとみられることが24日、信州大教育学部（長野市）自然地理学研究室の大学院2年奥山加蘭さん（24）と岡谷市出身の川内大助・教授による研究で分かった。体験者らへの聞き取りを基に約150地点で推定される震度分布を分析。比較的狭い範囲でも地盤の強さなどにより揺れの大きさに幅があったことが判明した。

奥山さんは、2020年度から諏訪、岡谷市、諏訪郡下諏訪町で地震を体験した80歳以上の高齢者へのアンケートや聞き取りを実施。このうち、感じた揺れの程度や位置が分かる約千人の証言を基に、当時の震度分布を分析した。窓

昭和東南海地震での諏訪、岡谷市、下諏訪町の推定震度分布図。諏訪湖に近い地盤が軟弱な一帯を中心に震度6弱以上の地点が目立つ（奥山さん作成）

ガラスが割れる、歩行が難しくなるといった証言から、揺れの体感や被害状況を震度別に示す気象庁の解説表に準じて各地点の推定震度を地図上に落とし込んだ。

研究によると、震度6強の揺れがあった可能性のあるのは下諏訪町四王地区で、下諏訪南小学校東南の諏訪湖の埋め立て地。岡谷市湊地区、下諏訪町赤砂地区など、河川の氾濫による土砂の堆積や埋め立てなどによる軟弱地盤がある一帯では、震度6弱程度の

強い揺れに見舞われた可能性があると推定している。一方、岡谷市今井地区などでは「物は落ちたが外に避難はしなかった」との証言があり、震度3、4相当と推定。奥山さんは「建物の耐震強度や、わずかな地盤の違いで揺れの体感や被害に差が出た可能性がある」と指摘する。諏訪市のJR上諏訪駅周辺では、震災を語り継いできた諏訪地域の住民グループ「東南海地震体験者の会」が集めた証言も活用。一帯では「（家らしい）」と話している。

奥山さんは研究結果について「現在のハザードマップで液状化などが想定される場所では、過去にも揺れが大きかったことが分かった」とし、「自分の住む地域で起きた被害を次の世代に伝えることで、防災に必要な知識や南海トラフ巨大地震への備えをより身近に感じてもらえればうれしい」と話している。

## 昭和東南海地震 信大研究室などが分析

## 解答例

年 組 番 名前

1944年に発生した昭和東南海地震で、諏訪湖周辺一帯では震度3～6強に相当する揺れがあったとみられることが、信州大の大学院2年奥山<sup>からん</sup>加蘭さんらの研究で分かりました。当時の状況を想像しながら、記事を読んでみましょう。

①奥山さんは当時の震度分布を分析するために、具体的に何を実施しましたか。

【解答】 2020年度から諏訪、岡谷市、諏訪郡下諏訪町で地震を体験した80歳以上の高齢者へのアンケートや聞き取り

②研究によると、震度6強の揺れがあった可能性があるのは、どの地区ですか。

【解答】 下諏訪町四王地区

③強い揺れに見舞われた可能性があるとは推定しているのは、どんな地盤がある一帯ですか。

【解答】 河川の氾濫による土砂の堆積や埋め立てなどによる軟弱地盤

④奥山さんは研究結果について、どんなことが分かったと話していますか。

【解答】 現在のハザードマップで液状化などが想定される場所では、過去にも揺れが大きかったこと

⑤巨大地震への備えとして、あなたはどんな取り組みをしておくべきだと思いますか。友達と話し合ってみましょう。

【解答】 略